

ニ至ルモアリ、

〔松屋筆記 六十五〕百日咳ゼキの妙藥

小兒クツメキといふ病にあへば、必百日許痰咳クシキをくるしむ、如何なる醫藥祈禱も驗なきものなり、これに南天竺の實に砂糖を加て煎服せしむれば速に效あり、南天實冬を経たる物尤よし、

小兒痰咳の藥

小兒痰咳の藥に、高麗人參胡桃を煎湯にし用れば妙なり、高麗人參は朝鮮人參なり、今は日光人參に代てよし、

雜病
飲水病

〔喫茶養生記 下〕飲水病

此病起於冷氣、若服桑粥則三五日必有驗、永忌薤蒜葱勿食矣、鬼病相加故他方無驗矣、以冷氣爲根源耳、服桑粥無百之一不_還平復矣忌雜是

〔中右記〕寛治八年元嘉保正月十日、此曉正四位上行修理權大夫播磨守藤原朝臣師信卒去、四年五十略是年來之飲水病云々、

○按ズルニ、古ク消渴ト稱スルモノ、一種ヲ飲水病トモ云ヒタルガ如シ、淋病ノ條ヲ參看スベシ、

不食病

〔喫茶養生記 下〕不食病

此病復起於冷氣、好浴流汗、向火爲厄、夏冬同以涼身爲妙術、又服桑粥湯、漸漸平愈、若欲急差、灸治湯治、彌弱無平復矣、

〔沙石集 五終〕歌之故命失事

天徳ノ御歌合ノ時、兼盛、忠見、左右ニ番テケリ、初戀ト云題ヲ給テ、忠見秀歌ヨミイダシタリト思テ、兼盛モイカデ是ホドノ、ウタヨムベキト思ヒケル、